**５年　「これからの食料生産とわたしたち」　（　　９～10月　　５時間　　）**

**（１）小単元の目標…**この単元は学習指導要領の内容（２）ア－（ア）（ウ），イ－（ア）に基づいて行う

　我が国の食料生産には，働く人の減少や環境への影響，食の安全性，自給率の低下などの様々な課題があることを理解し，安心・安全な食料を確保するために，これからの食料生産について考えようとする。

**（２）評価規準**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識及び技能 | 思考力・判断力・表現力等 | 主体的に学習に  取り組む態度 |
| ･我が国の食料生産の現状や  課題について資料などで調べて必要な情報を集め，読み取り，私たちの食生活を支えているのは，働く人々の工夫や努力，外国からの輸入品であることを理解している。  ･調べたことを基に，食料生産  の発展のためには課題の解決と国民の努力が大切であることを文や図にまとめている。 | ･我が国の食料生産の現状  や課題に着目して，問いを見いだし，問題点やこれからの食料生産の在り方について考え表現している。  ･我が国の食料生産の問題  点を，環境への影響，国際協調の観点，生産者と消費者などの観点と関連付けて考えたりして適切に表現している。 | ･我が国のこれからの食料生産について，学習計画を基に予想を立て，地図帳や各種資料等を活用し，主体的に学習し，課題を解決しようとしている。  ･学習したことを基に，これからの食料生産に関して自分達にできることを考えようとしている。 |

**（３）知識の構造図**

　我が国の食料生産は，自然環境や安全性，諸外国との関係，生産者と消費者とのかかわりなどと深くつながっている。したがって，環境を守りながら，安定して生産していくことが大切である。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　❹

**中心概念**

**まとめる**

**具体的知識**

・食料自給率の低下や食の安全・安心の問題など、わたしたちは様々な食の問題を抱えている。　　　　　　　　　　　❶

・食料自給率を上げるために人々は様々な工夫や努力をしている。また、安全・安心な食料の確保のためには、食に関心をもつことや環境についても考えていく必要がある。　　　　　　　　　　　　❸

・国際化による食生活の変化や、農業や漁　業従事者の減少が食料自給率の低下につながっている。　　　　　　　　　　❷

　・日本の食料生産は自然環境と深い関わりをもって営まれており、食料問題は世界規模でつながっている。　　　　　　　　❺

**用語・語句**

・耕地面積

・地産地消

・環境保全

・トレーサビリティ

・生産者と販売者

・食の安心と安全

・輸入と輸出

・食料自給率

**調べる**

**問題解決的な学習の過程**

**つかむ**

**いかす**

**つかむ**

**（４）指導計画**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 学習  過程 | 主発問  　　　　　主な学習活動・内容 | □指導上の留意点  ☆評価計画 | | 資料 |
| 学習問題をつかむ（１時間） | 食料生産の問題について話し合い，学習問題をつくりましょう。❶  ①日本の食料自給率を知り，諸外国と比較する。  ②ゲストティーチャー（栄養教諭･学校栄養職員）から食材の選び方について話を聞く。  ③資料やゲストティーチャーの話から気付いたことや，考えたことを発表し合う。  　食料自給率の低下や食の安全・安心の問題など，わたしたちは様々な食の問題を抱えている。  **学習問題　　日本の食料生産にはどのような問題があり，これからの食料生産をどのように進めたらよいのでしょうか。**  ④自給率が下がった原因について，それぞれ予想しながら話し合い，調べることを整理する。  ［調べること］  ・食生活の変化　・食品別輸入量の変化  ・農業や水産業従事者の変化　・土地利用の変化  ・食の安全の問題と取り組み　・食料生産と世界  ・食料生産と環境　など | □現在の主な外国の食料自給率から，日本の自給率を予想させる。  □可能であれば，栄養士に給食に使う食材選びの現状を話してもらう。（価格の差にもふれてもらう）  □食の安全に関する新聞記事を用 い，食の安全・安心の問題にも目 が向くようにする。  □40年前の日本の食料自給率と比べて自給率が下がっていることから，将来の日本の食料自給率がどうなっていくのか見通しを持たせる。  ☆我が国のこれからの食料生産で学習したことを基に，これからの食料生産に関して自分達にできることについて，学習計画を基に予想を立て，地図帳や各種資料等を活用し，主体的に学習し，課題を解決しようとする。  《主体的に学習に取り組む態度》 | | ・寿司や天ぷらなど和食の写真  ・地図帳  ・各国食料自給率グラフ  ・日本の食料自給率の変化のグラフ |
| 学習問題について調べる（２時間）  　　　　　　　　　　　　　　調べる（８時間） | わたしたちの食生活はどのように変化したのでしょうか。❷  ①過去と現在の食事を比較する。  ②主な食料の消費量の変化や消費が増えたものは輸入が増えていることを資料から読み取る。  ③農業や漁業従事者の減少，耕地面積の減少を資料から読み取る。  　国際化による食生活の変化や，農業や漁業従事者の減少が食料自給率の低下につながっている。 | □国際化によって，食生活が変化し，  　それに伴い輸入が増えたことをつ  　かませる。輸送技術や冷凍技術の  　発達にも触れる。  ☆グラフから，消費量と輸入量は比例していることや，農業や漁業従事者の減少，土地利用の変化を読み取っている。  《知識及び技能》 | | ・食品の消費／輸入量の変化のグラフ  ・農業漁業従事者、土地利用の変化のグラフ |
| 食の安全や食料生産において日本はどのような取り組みをしているのでしょうか。❸  ①食の安全問題や，トレーサビリティーなど安心して消費者が食料を買える仕組みを調べる。  ②資料集などから，生産者や販売者，国や企業の取り組みを調べる。  ・環境へ配慮した持続的な農業  ・有機減農薬農法による米づくり　　など  　地産地消や外国への食料輸出、野菜工場での生産など，食料自給率を上げるために人々は工夫や努力をしている。また，安全・安心な食料の確保のためには，食に関心をもつことや食料を生産するための環境についても考えていく必要がある。 | □環境に目を向けることで，農業や  　漁業が自然環境と深いかかわり  　をもって営まれていることを改  　めて考えられるようにする。  □生産方法だけではなく，販売方法  　の広がりや海外での日本ブランド  　のアピールなども理解させる。  ☆食の安心・安全の確保や，食料自給率を上げるために，人々が様々な工夫や努力を行っていることを理解している。  　　　　　　　　《知識及び技能》 | | ・地産地消コーナーやイベントの写真  ・野菜工場の写真  　※NHK for  school「クリ  ップ」「未来  広告ジャパ  ン」などの動  画も参考に  すると良い。 |
| 学習  過程 | 主発問  　　　　　主な学習活動・内容 | □指導上の留意点  ☆評価計画 | 資料 | |
| 学習問題についてまとめる。（１時間）  める（１時間） | これからの食料生産の発展のために大切なことは何でしょうか。❹  ①これまで学習してきたことをもとに，これからの食料生産について話し合う。  例）・輸入にたよる現状の問題点とその対策について  　「PMIシート」を活用（下図参照）  　・安全・安心に対する取り組みとその活用  　我が国の食料生産を発展させるためには，様々な課題の解決が必要であり，わたしたち国民の努力が大切である。  　我が国の食料生産は，自然環境や安全性，諸外国との関係，生産者と消費者とのかかわりなどと深くつながっている。したがって，環境を守りながら安定して生産していくことが大切である。 | □国内生産のみで１日あたりに必要なエネルギーをとる場合の食事の例を提示して，輸入が私たちの食生活に必要不可欠であることを確認する。  ☆我が国の食料生産の問題点やこれからの食料生産の在り方について自分の考えを持ち，表現している。  《思考力・判断力・表現力》 | ・輸入が止まってしまった時の食事：JAキッズあぐり村（<http://www.zenchu-ja.or.jp/other/AGURI/index.html>参照） | |
| いかす（１時間） | 日本の食料生産の問題は世界とどのようにかかわっているのでしょうか。❺  ①グループで４つの資料を分担して読む。同じ資料を読んでいる人たちでどんなことが書かれているか確認する。  ②自分のグループに戻って，分担した資料にはどのようなことが書いてあったのかを互いに説明し合い，考えたことをまとめる。  ③資料から読み取ったことをもとに，社会を支える一員として，食糧生産の未来のために自分ができることについて考えをノートに書く。  　日本の食料生産は自然環境と深い関わりをもって営まれており，食料問題も世界規模でつながっている。 | □資料Ａから，世界では食料が十分に得られない人が多いことに気付かせる。  □資料Ｂから，日本は大量に食料を廃棄していることに気付かせる。  □資料Ｃから，輸入と環境問題（森林破壊や地球温暖化）のかかわりに気付かせる。  □資料Ｄから，食料生産と環境はつながっていて，食料生産を高めるには環境を守ることが大切であることに気付かせる。  ☆日本の食料生産の問題が世界とも様々な点でつながっていることに気付いている。  《思考力・判断力・表現力》 | Ａハンガーマップ  （国連WFP：<http://ja.wfp.org/hunger-jp/map>）  Ｂ食品ロス  Ｃフードマイレージ  Ｄ水の循環図と循環型農業の図  　（農林水産省  　　HP参照） | |

**（５）ワークシート**

①国産と外国産の食料調べ（導入）

ポイント

ポイント

この単元の学習の導入として，国産と外国産の食料調べを通して，自分たちが食べている食料に改めて関心を持たせる活動が考えられる。値段の差や種類を観点として，肉，魚，野菜，果物，米など分類ごとに調べさせる。外国産があることで，種類や値段に選択の幅が広がること，食材によっては国産または外国産が占めることに気づかせたい。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **食料** | **産地** | **気付いたこと** |
| 牛肉 | 北海道 | ・同じ食品でも，産地が違うと値段が大きく変わる。牛肉は国産と外国産での違いが大きい。  ・野菜は国産のものが多い。 |
| 牛肉 | ｵｰｽﾄﾗﾘｱ |
| 豆腐 | ｱﾒﾘｶ･ｶﾅﾀﾞ |
| 豆腐 | 国産 |
| にんにく | 国産 |
| にんにく | 中国 |
| ほうれん草 | 宮城 |
| トマト | 栃木 |

②輸入のプラスとマイナス　（第４時）

　簡単に結論を出さないように，輸入が食生活に必要不可欠なことや，輸入のメリットデメリットをしっかりとらえさせてから考えさせる。また，国際関係の悪化や災害などで，輸入できない場合があることもおさえておく。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| Ｐ（プラス面） | Ｍ（マイナス面） | Ｉ（輸入に頼ることの問題点とその対策） |
| ・値段が安い  ・日本で作れないものが手に入る  ・種類が豊富になる  ・いつでも買える  ・今の食生活ができる  ・外国と交流ができる  ・・・ | ・自給率が下がる  ・国産のものが売れない  ・農家が減る  ・安全面が心配  ・新鮮ではない  ・外国が売ってくれなくなったら困る  ・・・ | ・外国との関係が悪くなって輸入が止まると，食料不足になる。  ・国産が売れないと農家が減り，自給率が下がる。  ・地産地消を進めながらも輸出入のバランスを大切にする。  ・外国との関係を良くし，日本の農作物をたくさん買ってもらう。  ⇒輸入は必要だが，頼りすぎてはいけない。  ⇒輸入を減らしながら，日本で作れるものは作る。 |

「いちばん身近な「たべもの」の話」農林水産省: www.maff.go.jp/j/zyukyu/zikyu\_ritu/pdf/tabemono\_pamph19.pdf